

令和8年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第1回）

海上保安庁からの情報提供

- 1 海上保安庁の任務
- 2 海上保安庁メディカルコントロール体制
- 3 海上における救急搬送の現状

海上保安庁メディカルコントロール協議会事務局
（海上保安庁警備救難部救難課）

1 生命を救う



2 治安の確保



3 領海・EEZ
を守る



4 青い海を
守る



5 災害に備える



6 海を知る



7 海上交通の
安全を守る



8 海をつなぐ



2 海上保安庁の救助・救急体制

【救助・救急勢力の配置】

特殊救難隊

- 羽田空港に拠点を置き全国展開
- 隊員41名、救急救命士・※救急員を配置

機動救難士

- 10の航空基地を拠点に航空救難に特化
- 各基地9名、救急救命士・※救急員を配置

潜水士

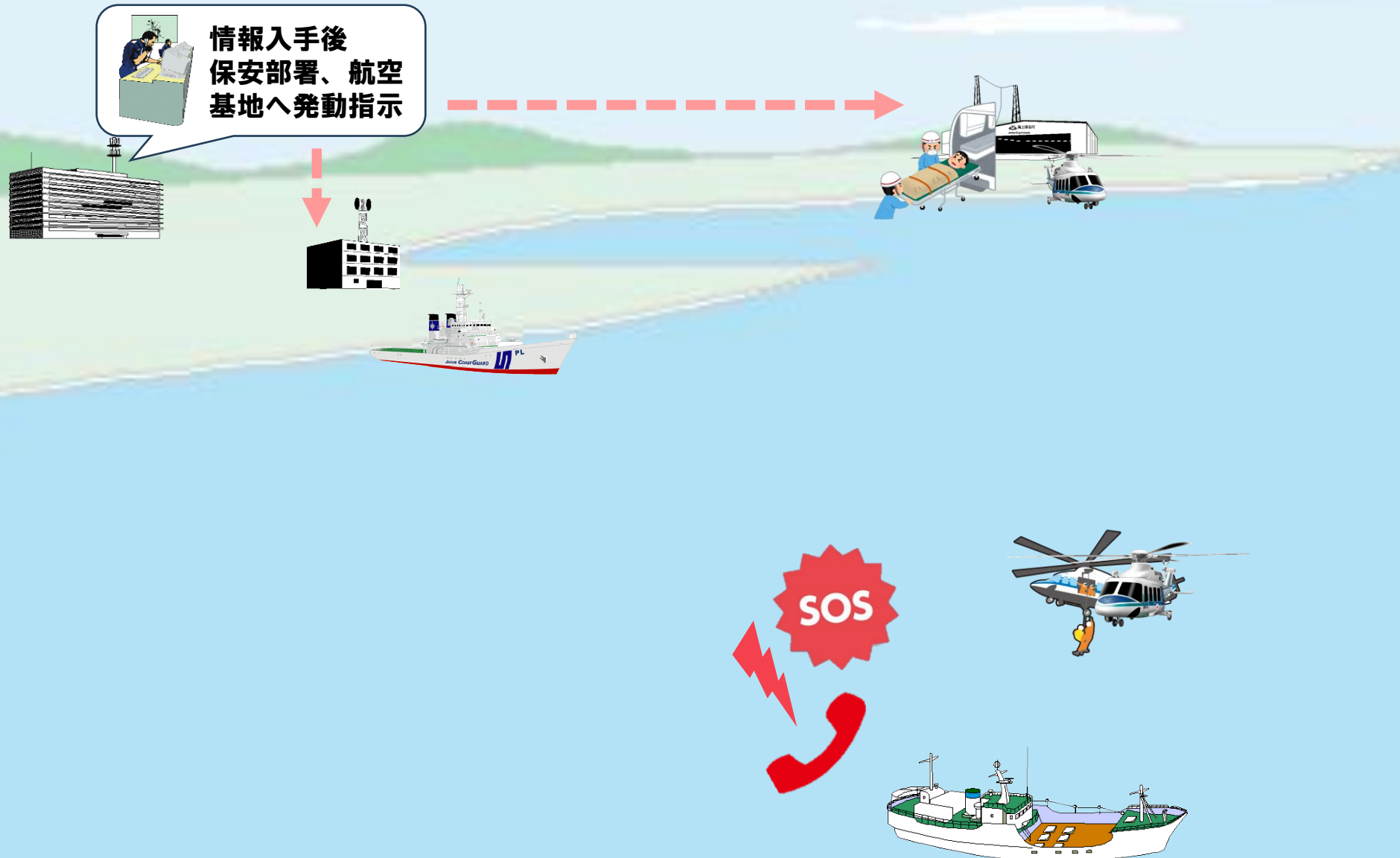
- 23隻の指定船に乗船し管区事案に対応
- 各船に※救急員を配置



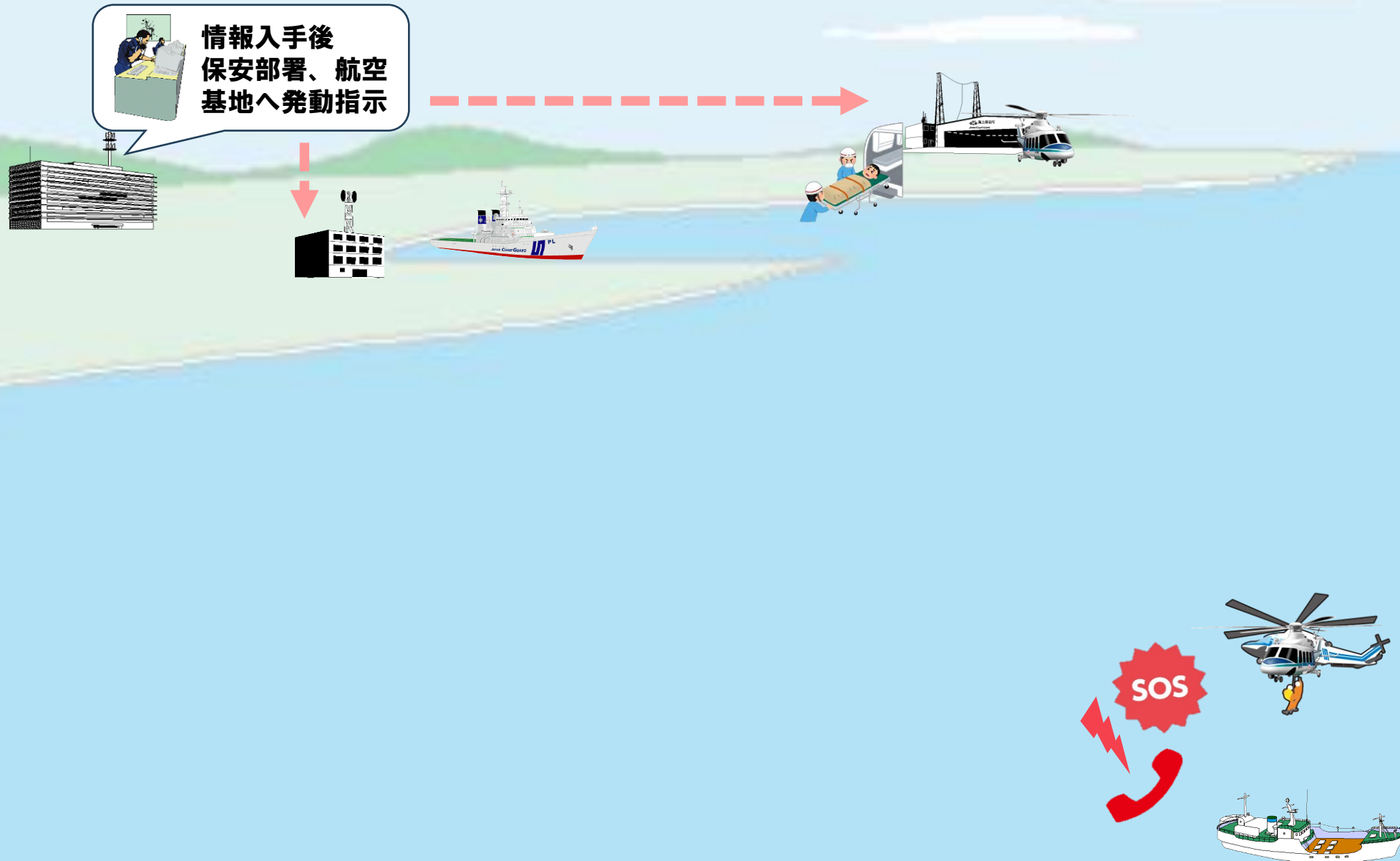
- ★ : 羽田特殊救難基地
- ★ : 航空基地
- ★ : 海上保安部
(潜水指定船配置のみ)

※救急員：当庁内規則において、消防機関救急隊の行う応急処置と同等の処置ができる者

ヘリコプター又は巡視船による搬送救助

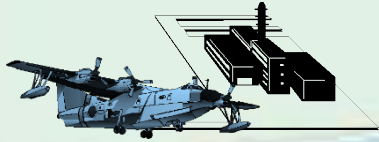


巡視船を経由したヘリコプターによる搬送救助





情報入手後
保安部署、航空
基地へ発動指示



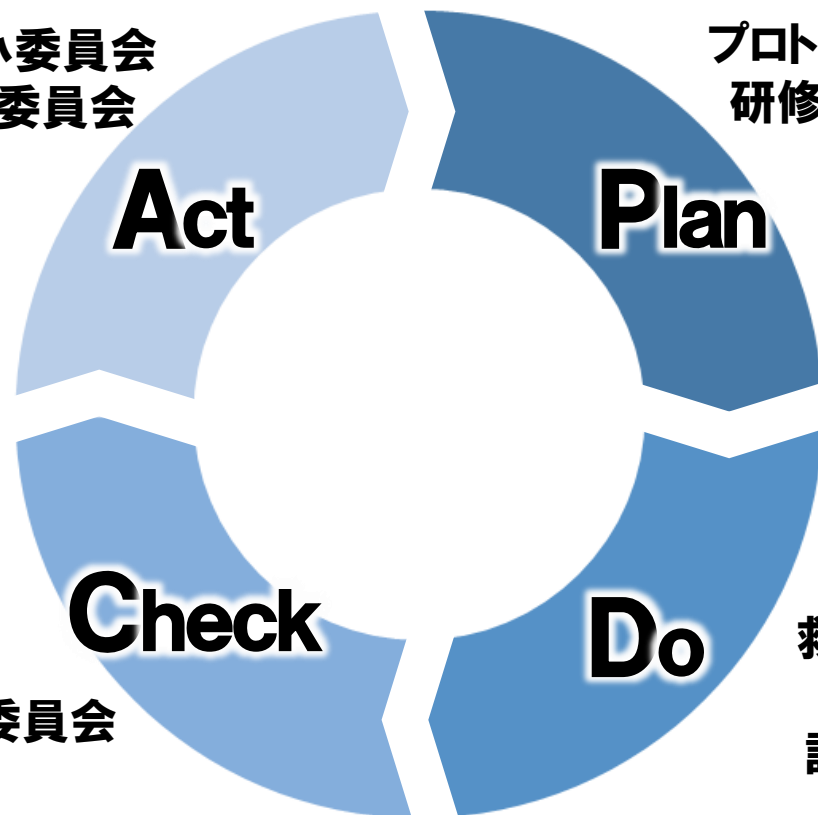
災害派遣要請(海上自衛隊)



海上保安庁メディカルコントロールの特徴

- 海上における急患搬送が長時間に及ぶ
- 救急救命士の活動が都道府県の枠を超え、陸上とは異なる
- 本庁救難課に設置されたMC事務局が全管区（日本周辺海域）を統括し、救急救命処置の質を医学的・管理的観点から保証する単一組織として運営

プロトコール小委員会
研修教育小委員会

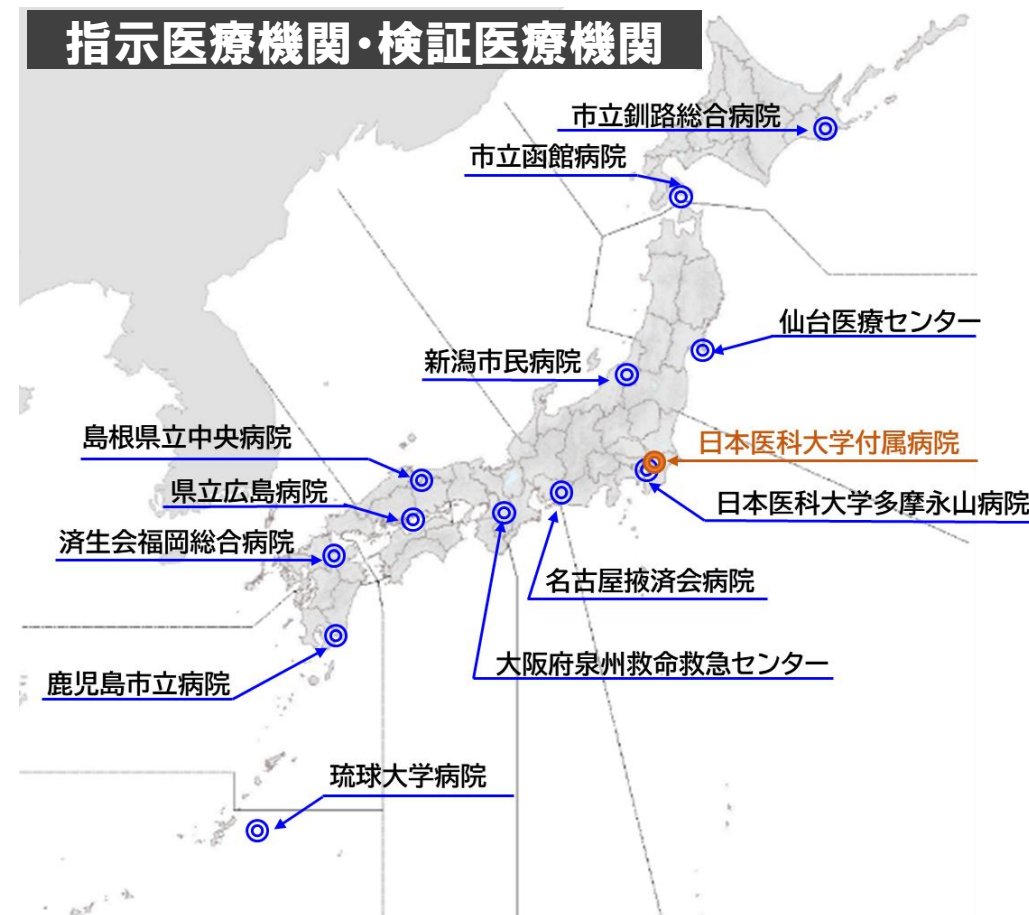


プロトコール小委員会
研修教育小委員会

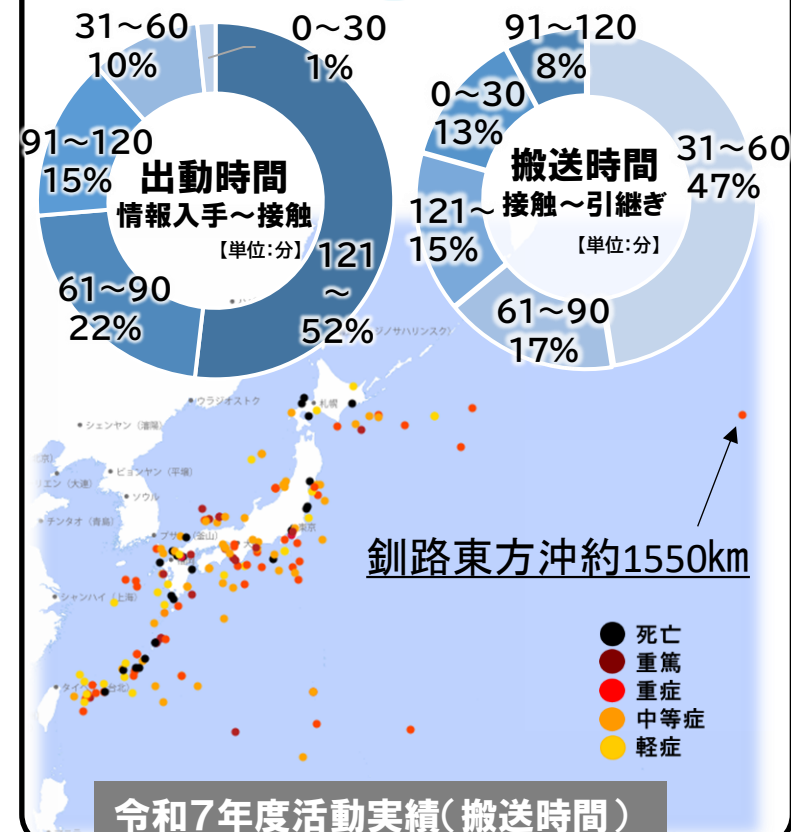
救急救命処置
応急処置
訓練・研修・教育

事後検証小委員会

指示医療機関・検証医療機関



長距離 長時間



救助 + 救急

- 救急救命士も救助活動を実施
- 救助現場は、海上（沖合・沿岸）、多種多様な船舶上等
- 救急活動は船内や航空機内等（狭



医療指示・助言

連絡 手段

救急活動現場における通信手段
◆携帯電話 ◆衛星電話 ◆有線無線

